

事業拡大を後押し

【農機具共済】

昨年5月、注意はしていましたが、代掻き作業中に方向転換でバックした際、ウイングハローを擁壁にぶつけてしまいました。農機具の修理代は高額になってしまうので、農機具共済に加入して本当に助かりました。

普段から事故防止の対策として、周囲の確認や必要に応じて複数人での作業、整備時はエンジンを切る、事故の前例を教訓に注意するなど、怠らないようにしています。また、農閑期には農機具のフル稼働に備えてメンテナンスに出し、故障や事故を未然に防ぐようにしています。

注意をしても、ちょっとしたことで事故は起こってしまいます。経営者として、従業員には厳しく言うだけでなく、安心して作業できる職場環境を整えるためにも、加入は必要だと考えています。

今後、新たに大豆や小豆の生産に力を入れる計画です。農機具共済に加入し、事故に備えることで、安心して事業の拡大を進めたいと思います。

- ▷主食用米57.7㌔、飼料用作物・大豆など13.3㌔、水稻作業受託約60戸
- ▷トラクター7台、田植機2台、コンバイン3台、乾燥機6台など

(農業共済新聞 中国版 2020年4月2週号より)



三次市和知町
株式会社 福田農場
代表取締役 福田 一之さん (47歳)